



東京都高等学校数学教育研究会
事務局 都立江北高等学校内
事務局長 吉 田 亘
発行所 都立拝島高等学校内
編集発行人 水 本 香
都数研HP <http://tosuiken.jp/>

令和元年度 総会

令和元年度総会が、令和元年5月18日(土)13:30から都立武蔵高等学校にて行われた。開会の辞・会長挨拶と始まり、昨年度夏に行われた第100回全国算数・数学教育研究(東京)大会の実行委員長である池田様より来賓挨拶も行われた。議事の流りは以下の通りである。

1. 平成30年度事業報告
2. 平成30年度決算および監査報告
3. 令和元年度 役員選出
4. 令和元年度 会長挨拶
5. 令和元年度 事業計画
6. 令和元年度予算
7. 令和元年度 役員・理事

なお、上記3にある役員選出であるが、昨年度の萩原会長に代わり、今年度から江戸川高校の藤田校長が会長に就任された。主な役員一覧は以下の通りである。

会 長 藤田 泉 (江戸川・長)
副 会 長 塩谷 耕 (京華女子・長)
梅原 章司 (小石川中等・長)
加藤 竜吾 (中部支所)

事 務 局 長 吉田 亘 (江北)
事務局次長 宇佐美 俊哉 (保谷)
研 究 部 長 白田 三知永 (小松川・長)
副部長 幸田 諭昭 (立川国際・長)
加藤 瑞樹 (東久留米総合・長)
山下 康弘 (北園・長)
定 通 部 長 佐々木 雅人 (葛西南・長)
編 集 部 長 水本 香 (拝島・長)
副部長 白鳥 靖 (多摩科学技術・長)
中川 徹 (府中・長)
高木 和美 (八王子桑志・長)
大島 和華子 (若葉総合・副)
奥村 英夫 (篠崎)
監 事 石崎 規生 (世田谷泉・長)
萩原 聡 (西・長)
高橋 豊 (武蔵・長)

その他の議事は全て承認され、研究発表に移った。発表に関しては次のページに記載する。

会長挨拶



会長 藤田 泉 (江戸川高・校長)

令和元年5月、東京都高等学校数学教育研究会(以下、都数研)の会長としてその任を負うこととなりました。東京都立江戸川高等学校長の藤田です。諸先輩方の御尽力や会員の皆様の活動のお蔭をもちまして、会員数も増え、都数研の活動を財務面でも安定して支援していくことができるようになりました。今後においても都数研の活動が広く高等学校の数学教育の発展に貢献したり、会員相互の情報交換をしたりする場となるようにしていきたいと思っております。会員の皆様の御支援と御協力をいただきながら、微力ながらも努力いたしますのでよろしく願いいたします。

今年度の活動は例年と同じく、東京都教育委員会の研究推進団体及び東京都教職員研修センターの研究普及団体として指定を受け、年間3回の授業研究、講演会を行います。また、学習指導法、大学入試、ICT、数学I、定通の各分科会では新学習指導要領を見据え、カリキュラム・マネジメントの視点に立った授業開発に向け議論を進めていきます。加えて編集部におい

ては、「研究集録」の発行や各分科会の成果を年3回発行の「会報」にまとめ都数研のホームページに掲載することで、広く全国に向けて発信していきます。

さて、近年、社会を取り巻く環境は加速度的に変化しており、将来を過去の延長線上では予測することが困難な時代を迎えています。このような社会環境の変化はこれからを担う生徒たちの生き方に大きな影響を与えます。私たち数学教育に携わる者にとって、数学教育を通して生徒たちが社会の変化に積極的に向き合い、主体的に学び続け、他者と協働して新しい価値観を生み出していく力を育てていくことが求められていると思えます。

研究部の5つの分科会の活動は、これまでの教材開発、指導法開発、評価法開発などに加え、これからはこうした社会の変化を見据えた実践を創出し、幅広く議論を重ね、新学習指導要領に柔軟に対応していくことが必要だと考えています。仲間と共に悩んだり、アイデアを持ち寄ったり、研究しあったりしながら、新たな時代の数学教育を切り開いていきましょう。

今年度も会員の皆様にとって実り多き1年であることと同時に、新たに研究活動に参加される方を心よりお待ちしております。